



アユ情報

第9号

平成27年5月25日
栃木県水産試験場

1. アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (5/22 現在)

- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました。河川状況は渇水が続いています (5/21)。



茂木地区のようすと採捕された天然アユ (5/21)

<茂木地区での定期調査結果>

| 平成27年 | | | | 平成26年 | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------|------|-------|----------|
| 日付 | 水温 | *採捕尾数 | 平均全長(mm) | 日付 | 水温 | *採捕尾数 | 平均全長(mm) |
| | | | | 4月3日 | 12.0 | 6.7 | 87.7 |
| | | | | 4月9日 | 11.0 | 2.0 | 92.0 |
| | | | | 4月16日 | 15.0 | 39.7 | 95.0 |
| 4月22日 | 15.2 | 6.2 | 78.5 | 4月22日 | 12.1 | 108.0 | 93.6 |
| 4月28日 | 19.7 | 0.5 | 78.5 | 4月30日 | 14.1 | 38.0 | 97.2 |
| 5月7日 | 19.0 | 3.3 | 98.1 | 5月7日 | 14.0 | 44.6 | 97.2 |
| 5月14日 | 19.8 | 7.5 | 88.0 | 5月14日 | 18.7 | 40.7 | 101.5 |
| 5月21日 | 21.0 | 14.0 | 81.1 | 5月21日 | 18.9 | 47.0 | 117.0 |

*投網1人1時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況 (5/22 現在)

- ・茨城県内の那珂川、久慈川では、順調な遡上が確認されています (5/19)。

茨城県水産試験場内水面支場

H27 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 12 号

- ・多摩川のガス橋付近では、遡上が続いているようです。

→5 月 22 日までの累計入網数：182, 587 尾 (H26 年同時期：240, 496 尾)

東京都島しょ農林総合研究センター 平成 27 年アユ遡上調査

- ・荒川の秋ヶ瀬取水堰でも、昨年と比べると少ないながらも遡上が続いています。

→5 月 21 日までの累計遡上数：142, 604 尾 (H26 年同時期：408, 802 尾)

利根導水総合事業所：平成 27 年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

豆知識～アユが好む河川環境とは？～

アユが好む漁場とは、「大きい石が多く、浮き石状態で、流下する砂が少ない漁場」とされています。石の大きさや浮き石かどうかは、見た目で見分けることができますが、流下する砂の量については判断が難しいこともあります。その場合は、トビケラ(砂を使って石の表面に巣を作る)の巣を目安にすることができます。川底の石を持ち上げてみて、石の表面にトビケラの巣が多い漁場は、流下する砂が多い(=巣の材料が多い)漁場であると考えられます。



トビケラの巣

また、金魚網を使って砂の量を量る方法もあります。金魚網を 10 秒沈めて、つまめるほど砂がたまる漁場では放流アユは定着しないとされています。

アユが好む漁場が多いのは、蛇行が多く、護岸や堰が少なく、いろいろな大きさの石がある河川です。逆に、護岸や堰が多いと蛇行が形成されなくなります。蛇行が減少すると、淵ができなくなり、淵ができなくなると良い瀬もできなくなります。また、石の大きさが均一化すると、浮き石が少なくなります。例えば、神通川や庄川では、護岸の多い区間では蛇行が少なく、アユの漁獲量も少ないことが分かっています。また神通川では、その間にアユの放流量は増加していたにもかかわらず、淵の減少に伴ってアユの漁獲量が減少したことが報告されています。

したがって、釣れるアユ漁場をつくるには、アユが好む漁場に放流を行うこととともに、そのような漁場が多くなるように河川環境の改善を目指していくことも必要です。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>